

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

●10日のWTI原油は、前日比2.61ドル安の58.9ドルとなった。
トランプ米大統領は10日、SNSへの投稿で、米国に輸入される中国製品に対して「関税の大幅な引き上げ」を課すと警告。さらにトランプ氏はアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議に合わせて予定されている中国の習近平国家主席との会談について、会う理由がないとSNSに投稿し、中止を示唆した。

●13日のWTI原油は、前日比0.59ドル高の59.49ドルとなった。
トランプ米大統領は10日、SNSへの投稿で、中国によるレアアース(希土類)の輸出規制強化を批判。11月から100%の対中追加関税を課す方針を示した。これを受け、米中の貿易戦争が再燃するとの懸念が台頭し、前週末の相場は4%超安となった。

●14日のWTI原油は、前日比0.79ドル安の58.7ドルとなった。
米政府は14日、米国に入港する中国船の運航事業者から巨額の手数料の徴収を始めた。これに対し、中国交通運輸省は報復措置として、米国船を対象に「特別港務料金」を課すと表明した。これらを背景に、米中対立激化への警戒感が再燃し、原油は売られた。

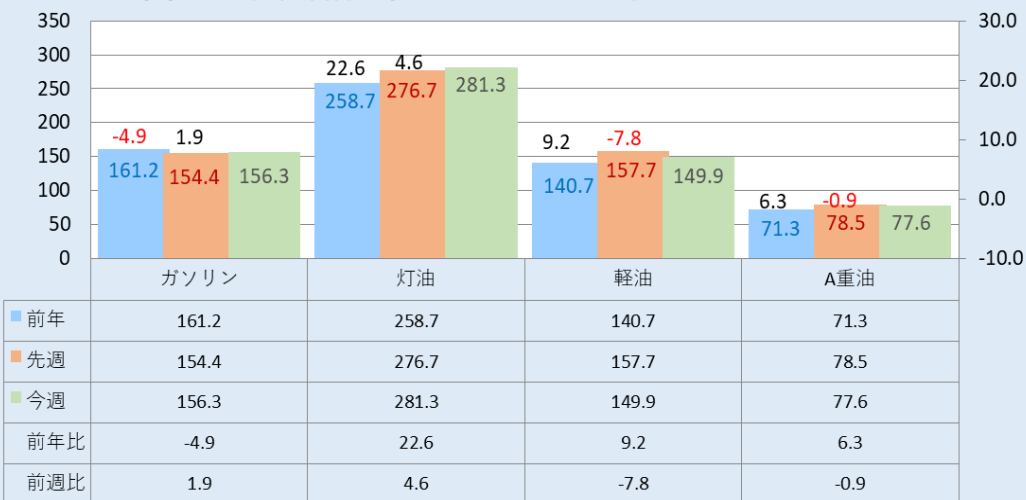
●15日のWTI原油は、前日比0.43ドル安の57.84ドルとなった。
先週の中国によるレアアース(希土類)輸出規制強化策を発表を受け、トランプ米大統領は11月1日から中国製品に100%の追加関税を課す意向を表明した。貿易を巡る米中対立激化を警戒して、投資家のリスク回避姿勢が強まっている。

●16日のWTI原油は、前日比0.85ドル安の57.46ドルとなった。
トランプ米大統領は15日、インドのモディ首相が「ロシアから原油を買わないと私に約束した」と言明。インドにとって、ロシアは最大の原油調達先で、輸入総量の約3分の1を占める。今後は他の産油国への切り替えが進むとの思惑から、朝方にかけては買い戻しが先行した。

10月17日	12:00現在	WTI原油	57.30ドル	為替 1ドル	151.18円
--------	---------	-------	---------	--------	---------

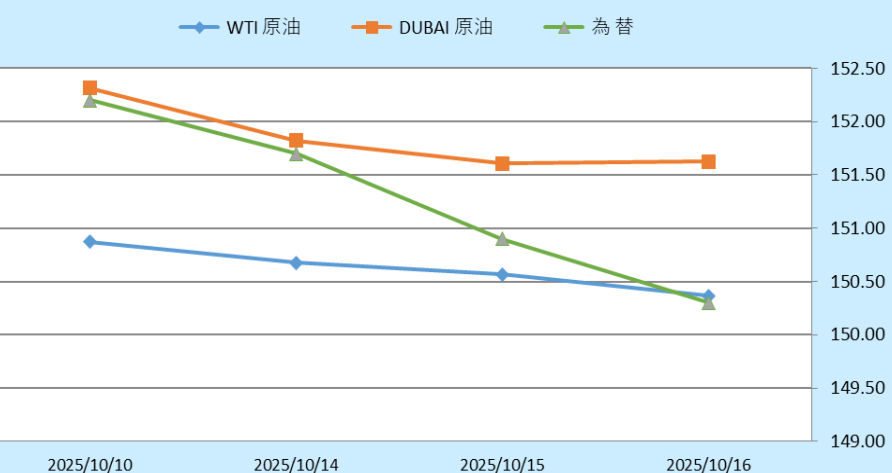
国内石油製品在庫 10月11日時点

単位/万KL



WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ

単位/円



【次回価格変動予想】

ガソリン	➡	-4.0 ~ -3.5
灯油	➡	-4.0 ~ -3.5
軽油	➡	-4.0 ~ -3.5
A重油	➡	-4.0 ~ -3.5
LSA	➡	-4.0 ~ -3.5

※原油コスト「-4円~-3.5円」
※補助金(ガソリン・軽油)「10.0円」前週比±0円
※現時点での予測です。

【市況総括】

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「+1.0円」、補助金は、「±0円」、都合「全油種 +1.0円」の改定となった。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの14日時点の小売価格平均は174.7円となっている。

《来週》次回の元売り改定は、原油コストは「-4.0円~-3.5円」、補助金は「±0円」で、都合「-4.0円~-3.5円」の改定予測となっている。

【次世代エネ コラム】 < 鉄サビが未来の燃料に？白金不要の画期的「グリーンラスト触媒」 >

水素エネルギー社会実現の大きな障壁は、燃料電池や水素貯蔵材料に不可欠な高価な希少金属「白金(プラチナ)」の存在だった。この「白金の壁」を打ち破る画期的な触媒を、物質・材料研究機構(NIMS)が開発した。

これまで不安定とされてきた「グリーンラスト(緑の錆)」と安価な「銅」のみを用い、白金を一切使わずに水素を効率的に生成する。この新技術は、独自に安定化させたグリーンラストの粉末を塩化銅溶液に浸すという簡便な手法で作製される。これにより、グリーンラスト結晶の端面にナノサイズの酸化銅が形成され、これが水素生成の活性サイトとして機能する。さらに、太陽光エネルギーを吸収して反応を加速させる光触媒の特性も併せ持つ。その性能は驚異的で、触媒活性は従来の白金系触媒を10倍から100倍上回り、優れた耐久性も確認された。製造コストは白金の10分の1に削減できる可能性があり、燃料電池自動車(FCV)の価格を大幅に引き下げ、普及を加速させることが期待される。また、バッテリー化が困難なトラックや船舶など大型モビリティの脱炭素化にも道を開く。

燃料となる水素化ホウ素ナトリウム(SBH)のコストや触媒の量産化などの課題は残るが、ありふれた鉄と銅で「脱・白金」を実現した本技術は、日本のエネルギー安全保障にも貢献する大きな一歩となる。